



# Cisco Secure Cloud Analytics

Amazon Web Services 向けパブリック クラウド モニターリング クイック スタート  
ガイド



---

# 目次

<b>パブリッククラウドのモニタリング Amazon Web Services 向けの設定</b> .....	<b>3</b>
<b>S3 バケットフロー ログ データストレージの設定</b> .....	<b>3</b>
S3 バケットの VPC への関連付け: .....	3
<b>フローログデータにアクセスするための AWS 権限の設定</b> .....	<b>4</b>
フローログデータにアクセスする権限を持つポリシーの作成: .....	4
<b>フローログデータにアクセスするための IAM ロールの設定</b> .....	<b>5</b>
フローログデータにアクセスする権限を持つ IAM ロールの設定: .....	5
<b>S3 バケットからフローログデータにアクセスするための Secure Cloud Analytics の設定</b> .....	<b>6</b>
S3 バケットに保存されているフローログデータを取り込むための Secure Cloud Analytics の設定: .....	6
Secure Cloud Analytics がフローログデータを取り込むための S3 バケットポリシーの設定: .....	7
<b>AWS との統合の確認</b> .....	<b>8</b>
AWS 統合の確認: .....	8
<b>その他のリソースおよびサポート</b> .....	<b>9</b>
<b>変更履歴</b> .....	<b>10</b>

# パブリッククラウドのモニタリング Amazon Web Services 向けの設定

Cisco Secure Cloud Analytics パブリッククラウドのモニタリング (旧 Stealthwatch Cloud パブリッククラウド モニタリング) は、Amazon Web Services (AWS) 向けの可視化、脅威特定、およびコンプライアンスサービスです。Secure Cloud Analytics は、AWS パブリッククラウド ネットワークから仮想プライベートクラウド (VPC) フローログなどのネットワークトラフィック データを取得します。次に、そのデータに対して分析を実行して脅威と侵害の兆候を検出することによって、ダイナミック エンティティ モデリングを実行します。Secure Cloud Analytics は、適切な権限を持つクロスアカウント IAM ロールを使用して、AWS アカウントから直接 VPC フロー ログを消費します。さらに、Secure Cloud Analytics は、追加のコンテキストとモニタリングのために、その他のデータソース (CloudTrail や IAM など) を消費することができます。

フローログを保存する **S3 バケット**と、これらのフローログを取り込む Secure Cloud Analytics を設定するには、次の手順を実行します。

1. AWS で、VPC の VPC フローロギングを有効にし、フローログのエクスポート先の S3 バケットを設定します。詳細については、「[S3 バケット フロー ログ データ ストレージの設定](#)」を参照してください。
2. AWS で、IAM アクセスポリシーと IAM ロールを設定して、Secure Cloud Analytics のフロー ログへのアクセスと取得を可能にします。詳細については、「[フローログデータにアクセスするための AWS 権限の設定](#)」および「[フローログデータにアクセスするための IAM ロールの設定](#)」を参照してください。
3. Secure Cloud Analytics Web ポータル UI で、S3 バケットと IAM ロールを使用して設定を更新して、AWS フローログデータの取得を可能にします。詳細については、「[S3 バケットからフローログデータにアクセスするための Secure Cloud Analytics の設定](#)」を参照してください。

## S3 バケット フロー ログ データ ストレージの設定

既存の S3 バケットにフローログデータを保存できます。フローロギングを有効にするときに、新しい S3 バケットを作成することもできます。

### S3 バケットの VPC への関連付け:

#### はじめる前に

- AWS 管理コンソールにログインして、VPD ダッシュボードにアクセスします。

#### 手順

1. **使用している VPC** を選択します。
2. VPC を右クリックし、[フローログの作成 (Create Flow Log)] を選択します。
3. [フィルタ (Filter)] ドロップダウンから、次のオプションのいずれかを選択します。
  - 許可された IP トラフィックと拒否された IP トラフィックの両方を記録するには、[すべて (All)] を選択し、Secure Cloud Analytics で両方のタイプのトラフィックを表示できるようにします。
  - [許可 (Accept)] を選択すると、許可された IP トラフィックのみが記録され、Secure Cloud Analytics には許可されたトラフィックのみが表示されます。
4. [宛先 (Destination)] に [S3 バケットに送信 (Send to an S3 bucket)] を選択します。

5. フローログデータを保存する S3 バケット ARN を入力します。

**i** S3 バケットが存在しない場合は、変更をコミットした後に AWS によって作成されません。

6. [ログレコード形式 (Log record format)] ペインで、[カスタム形式 (Custom format)] を選択します。
7. [ログ形式 (Log format)] ドロップダウンリストからすべての属性を選択します。
8. [作成 (Create)] をクリックします。

## 次の作業

- Secure Cloud Analytics によるフローログデータへのアクセスを許可する AWS 権限を設定します。詳細については、「[フローログデータにアクセスするための AWS 権限の設定](#)」を参照してください。

## フローログデータにアクセスするための AWS 権限の設定

Secure Cloud Analytics Web UI に表示される JSON 設定を使用して、新しい IAM ポリシーを作成します。このポリシーには、Secure Cloud Analytics によるフローログデータへのアクセスを許可する権限が含まれています。

AWS クラウドポスチャを評価するには、AWS の IAM ポリシーに追加のアクセス許可を付与する必要があります。Secure Cloud Analytics の [AWS の概要 (AWS About)] ページに、「"Sid": "CloudCompliance"」で始まる JSON オブジェクトの必要な権限が一覧表示されます。

Secure Cloud Analytics と AWS を初めて統合するお客様で、これらの追加の権限を付与したくない場合は、このオブジェクトを削除できますが、クラウドポスチャレポートは使用できなくなります。

## フローログデータにアクセスする権限を持つポリシーの作成:

### はじめる前に

- AWS 管理コンソールにログインして、IAM ダッシュボードにアクセスします。
- 管理者アカウントで Secure Cloud Analytics Web UI にログインします。

### 手順

1. Secure Cloud Analytics Web UI で、[設定 (Settings)] > [統合 (Integrations)] > [AWS] > [情報 (About)] を選択します。
2. AWS リソースにアクセスする手順を確認します。
3. ポリシードキュメントの JSON 設定をコピーし、プレーンテキストエディタに貼り付けます。
4. Secure Cloud Analytics で AWS Cloud ポスチャを評価するために必要な追加の権限について、「Sid»: "CloudCompliance" で始まる JSON オブジェクトを確認します。次の選択肢があります。
  - これらの追加の権限を付与しない場合は、「Sid»: "CloudCompliance" で始まる JSON オブジェクトを削除します。Secure Cloud Analytics で AWS クラウドポスチャを評価することはできなくなります。次の手順に進みます。
  - これらの追加の権限を付与して AWS クラウドポスチャを評価する場合は、次の手順に進みます。
5. IAM ダッシュボードで、[ポリシー (Policies)] を選択します。

6. [ポリシーの作成 (Create Policy)] をクリックします。
7. [JSON] タブを選択します。
8. プレーンテキストエディタからポリシーの JSON 設定をコピーし、JSON エディタに貼り付けます。
9. [ポリシーの確認 (Review policy)] をクリックします。  
ポリシー検証ツールがエラーをスローした場合は、コピーして貼り付けたテキストを確認します。
10. [名前 (Name)] フィールドに `swc_policy` と入力します。
11. `Secure Cloud Analytics` がイベントとログデータを読み取ることを許可するポリシーなどの [説明 (Description)] を入力します。
12. [ポリシーの作成 (Create Policy)] をクリックします。

### 次の作業

- `Secure Cloud Analytics` によるフローログデータへのアクセスを許可する新しいロールを作成します。詳細については、「[フローログデータにアクセスするための IAM ロールの設定](#)」を参照してください。

## フローログデータにアクセスするための IAM ロールの設定

IAM ポリシーを作成したら、`Secure Cloud Analytics` によるフローログデータへのアクセスを許可する IAM ロールを作成します。

### フローログデータにアクセスする権限を持つ IAM ロールの設定:

#### はじめる前に

- AWS 管理コンソールにログインして、IAM ダッシュボードにアクセスします。

#### 手順

1. [ロール (Role)] を選択します。
2. [ロールを作成 (Create role)] を選択します。
3. [別のAWSアカウント (Another AWS account)] ロールタイプを選択します。
4. [アカウントID (Account ID)] フィールドに `757972810156` と入力します。
5. [外部IDが必要 (Require external ID)] オプションを選択します。
6. 外部 ID として `Secure Cloud Analytics` の Web ポータル名を入力します。



Web ポータル名は、`https://portal-name.obsrvbl.com` の形式でポータル URL に埋め込まれます。たとえば、Web ポータルの URL が `https://example-client.obsrvbl.com` の場合、外部 ID として `example-client` を入力します。URL 全体を入力すると、統合設定は失敗します。

7. [次へ: 権限 (Next: Permissions)] をクリックします。
8. 作成した `swc_policy` ポリシーを選択します。
9. [次へ: タギング (Next: Tagging)] をクリックします。

10. [次へ:レビュー (Next: Review)] をクリックします。
11. [ロール名 (Role name)] として `swc_role` を入力します。
12. クロスアカウントアクセスを許可するロールなどの [説明 (Description)] を入力します。
13. [ロールを作成 (Create Role)] をクリックします。
14. ロール ARN をコピーし、プレーンテキストエディタに貼り付けます。

### 次の作業

- IAM ロールと S3 バケット名を Secure Cloud Analytics Web UI に追加し、AWS に新しい S3 バケットポリシーをアップロードします。詳細については、「[S3 バケットからフローログデータにアクセスするための Secure Cloud Analytics の設定](#)」を参照してください。

## S3 バケットからフローログデータにアクセスするための Secure Cloud Analytics の設定

フローログの設定を完了するには、Secure Cloud Analytics Web UI で IAM ロールと S3 バケット名を入力し、S3 バケット名を追加するときに Secure Cloud Analytics によって提供される設定を使用して、AWS で S3 バケットポリシーを変更します。

アカウントで VPC フローログを有効にしたばかりの場合は、10 分待ってから、フローログデータを取得するように Secure Cloud Analytics 設定してください。S3 バケットにログが含まれない、その S3 パス名を追加すると、エラーが返されることがあります。AWS は、約 10 分ごとに VPC フローログを生成します。

### S3 バケットに保存されているフローログデータを取り込むための Secure Cloud Analytics の設定:

#### はじめる前に

- 管理者アカウントで Secure Cloud Analytics Web UI にログインします。

#### 手順

1. [設定 (Settings)] > [統合 (Integrations)] > [AWS] > [クレデンシヤル (Credentials)] を選択します。
2. [新しいクレデンシヤルの追加 (Add New Credentials)] をクリックします。
3. 分かりやすい名前を入力します。
4. 保存したロール ARN をプレーンテキストエディタからコピーし、[ロール ARN (Role ARN)] フィールドに貼り付けます。
5. [作成 (Create)] をクリックします。
6. [設定 (Settings)] > [統合 (Integrations)] > [AWS] > [VPC フローログ (VPC Flow Logs)] を選択します。
7. [VPC フローログを追加 (Add VPC Flowlog)] をクリックします。
8. [S3 パス (S3 Path)] フィールドに、フローログデータを含む S3 バケットの名前を入力します。

**i** 複数の設定済み S3 バケットを追加できます。Secure Cloud Analytics と AWS の統合には、1 つの IAM アクセス ポリシーとロールを設定する必要だけがあります。

- S3 バケットの [クレデンシアル (Credentials)] を選択し、[設定手順 (Setup Instructions)] をクリックします。

S3 バケットパスとクレデンシアルを使用して更新されたバケットポリシー JSON 設定が表示されます。

- 表示されたバケットポリシー JSON 設定をコピーし、プレーンテキストエディタに貼り付けます。

**i** このブラウザウィンドウを開いたままにします。S3 バケットポリシーを設定した後、Secure Cloud Analytics Web UI の設定を完了します。

## Secure Cloud Analytics がフローログデータを取り込むための S3 バケットポリシーの設定:

### はじめる前に

- AWS 管理コンソールにログインして、IAM ダッシュボードにアクセスします。
- 管理者アカウントで Secure Cloud Analytics Web UI にログインします。

### 手順

- IAM ダッシュボードで、[ポリシー (Policies)] を選択します。
- [ポリシーの作成 (Create Policy)] をクリックします。
- [JSON] タブを選択します。
- プレーンテキストエディタからバケットポリシー JSON 設定をコピーし、ポリシーエディタに貼り付けて、既存のバケットポリシーを上書きします。
- [ポリシーの確認 (Review policy)] をクリックします。
- ポリシーの [名前 (Name)] を入力します。
- 任意でポリシーの [説明 (Description)] を入力します。
- [ポリシーの作成 (Create Policy)] をクリックします。
- IAM ダッシュボードで、[ロール (Roles)] を選択します。
- swc\_role を選択します。
- [権限 (Permissions)] タブで、[ポリシーをアタッチ (Attach policies)] をクリックします。
- ステップ 6 で入力したポリシー名を選択します。
- [ポリシーをアタッチ (Attach policy)] をクリックします。
- Secure Cloud Analytics Web UI で、入力した S3 バケットパスとクレデンシアルに対して [作成 (Create)] をクリックします。

**i** S3 バケットからフローログデータを取り込むための適切な権限がない場合、システムはエラーを表示します。サポートが必要な場合は、[support@obsrvbl.com](mailto:support@obsrvbl.com) にポータル名と S3 バケット名をご連絡ください。

### 次の作業

- AWS 統合を確認します。詳細については、「[AWS との統合の確認](#)」を参照してください。

## AWS との統合の確認

AWS との統合を完了すると、[設定 (Settings)] メニューの Cisco Secure Cloud Analytics センサー (旧 Stealthwatch Cloud Sensor) ページに、次の名前新しいセンサーが表示されます。

AWS: *S3-bucket-name*

このセンサーエントリには統合の健全性または S3 バケット名が表示されますが、センサーのページから直接設定することはできません。

**i** PCM の設定を完了してからトラフィックおよびエンティティデータの表示が開始されるまでに最大 24 時間かかります。

### AWS 統合の確認:

#### はじめる前に

- 管理者アカウントで Secure Cloud Analytics Web UI にログインします。

#### 手順

1. Secure Cloud Analytics Web UI で、[設定 (Settings)] > [Sensor (Sensors)] を選択します。ページに S3 バケット名が表示されていることを確認します。
2. [統合 (Integrations)] > [AWS] > [権限 (Permissions)] の順に選択します。表示された AWS 権限が期待どおりであることを確認します。

## その他のリソースおよびサポート

さらにサポートが必要な場合は、[support@obsrvbl.com](mailto:support@obsrvbl.com) まで電子メールでお問い合わせください。

Secure Cloud Analytics の詳細については、次を参照してください。

- 概要については、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/security/stealthwatch-cloud/index.html> を参照してください。
- 60 日間の無料トライアルに登録するには、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/security/stealthwatch/stealthwatch-cloud-free-offer.html> にアクセスしてください。
- ドキュメントリソースについては、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/stealthwatch-cloud/tsd-products-support-series-home.html> を参照してください。
- Secure Cloud Analytics 無料トライアルのガイドなど、インストールおよび設定ガイドについては、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/stealthwatch-cloud/products-installation-guides-list.html> を参照してください。

## 変更履歴

リビジョン	改訂日	説明
1.0	2018年3月7日	最初のバージョン。
1.1	2019年5月30日	S3バケットの統合情報について更新。
1.2	2019年6月14日	設定のマイナー更新。
1.3	2019年10月22日	設定手順を更新。
1.4	2020年8月13日	フローログのシンタックス書式のレンダリングを修正。
1.5	2020年10月16日	UIの更新に基づく更新、およびフローログ形式を明記。
1.6	2021年1月26日	Secure Cloud Analytics ポスチャ管理の更新(必要な権限など)。
1.7	2021年2月18日	UI再構築のための更新。
2.0	2021年11月3日	製品のブランド名を更新。

---

## 著作権情報

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、URL: <https://www.cisco.com/go/trademarks> をご覧ください。記載されている第三者機関の商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1721R)